

質問
市長は、「30年持続可能なまちづくり」「4万7千人の人口維持」「日本一の子どもづくり」

少子高齢化と人口対策について



古畑 浩一
議員

を公約に掲げているが、国・県においても人口維持に向けて新たな施策を模索しており、市としても更なる事業展開が必要と考えるが、いかがか。当市における20〜39歳女性人口、出生数、出生率、若者の定着数、婚姻件数及び未婚率の推移と、今後の具体策と推進策について伺う。

市長答弁

20〜39歳女性人口は、国勢調査によると、17年は4,354人であり、22年は3,906人となっております。

質問
糸魚川圏域の医師・看護師数の現状と課題、365日24時間

医師・看護師確保など地域医療の諸課題と市の対応について



田原 実
議員

救急医療体制の現状と課題について伺う。
また、保健センターの改修工事と活用についてはどうか。
市長答弁
当地域の医師・看護師数については、24年12月現在で医師58人、看護師273人が登録されているが、国、県の平均より少なく、医師及び看護師の確保が課題である。24時間医療体制については、糸魚川総合病院や医師会の協力で実施しているが、医師確保や医師会

の高齢化が課題となっている。保健センター改修工事については、耐震補強に併せて、暖房設備の更新、床材の貼り替えやバリアフリー化などの改修を行う。また、これまで実施してきた各種健診や講座のほか、介護予防教室や地区運動教室などの会場として利用を検討していく。

市の「営業」展開、費用対効果について

質問

市の観光資源・文化施設・農林水産体験学習などを活用した誘客と、これに伴う観光消費と地域経済への波及について伺う。

市長答弁

市の観光資源・文化施設・農林水産体験学習などを活用した誘客については、観光ツアーや体験教育旅行で、ヒス

る中で、少子化・子育て支援事業や移住・定住事業を実施し、ホームページ等で分かりやすく周知していく。



《その他質問項目》
○糸魚川市の交通政策、公共交通の確保と充実について

イ峡などのジオサイト、フォッサマグナミュージアム、谷村美術館などの文化施設、聖学院中学をはじめとした農林水産体験などを組み合わせ、ツアーの企画販売に取り組みしており、観光消費と地域経済への波及効果は、25年度の観光入込数で試算すると、直接効果で約172億円となる。